

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

事業名 校内ネットワーク保守運用業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 事務局総務課 電話番号：0584-75-6600(内 8217)

E-mail: c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,947千円 (前年度予算額： 44,117千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	44,117	0	0	0	0	0	0	0	44,117
要求額	30,947	0	0	0	0	0	0	0	30,947
決定額	30,947	0	0	0	0	0	0	0	30,947

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和3年1月より新ネットワークシステムが稼働。学内ネットワーク機器の運用及びサービスの提供は、学内連絡や施設予約はもとより、授業・研究活動全般にわたり、教育研究ネットワークインフラとして機能しており、安定・効率的かつセキュアなネットワーク環境及び充実したネットワークサービスを維持するため、構築及び運用保守業務を委託している。

(2) 事業内容

○ネットワークサービス

- ・障害発生時の機器修理、交換作業
- ・ソフトウェアのアップグレード
- ・機器監視、セキュリティ診断
- ・テクニカルサポート
- ・セキュリティ対策 (標的型攻撃・ゼロディ攻撃対策機能等) 等

○サーバサービス

- ・Webサービス(Databaseサービス)
- ・監視サービス
- ・認証サービス
- ・グループウェアサービス
- ・インターネット接続サービス
- ・e-Learningサービス
- ・シンクライアント(VDI)
- ・学術認証フェデレーション参加
- ・メール誤送信防止システム
- ・ファイル暗号化システム等

[事業費内訳]

<校内新ネットワーク構築及び保守運用業務>

- ・ 契約期間：令和2年6月18日～令和7年12月31日
(運用期間：令和3年1月1日～令和7年12月31日(60ヶ月))
- ・ 総事業費：191,117千円
[R2：44,117千円、R3～6：30,947千円、R7：23,212千円]
- ・ R3年度要求額：30,947千円

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県情報セキュリティ基本方針では、コンピュータの管理、アクセス制御、不正プログラム対策、不正アクセス対策等の技術的な対策を講じることとされている。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	30,947	ネットワークの保守運用に要する経費
合計	30,947	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県情報セキュリティ基本方針

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

令和3年度以降は、年30,947千円、R7年度は23,210千円必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

本学の教育・研究・製作活動を支える情報インフラとして、安定かつ効率的なネットワーク環境の維持及び安全面に充実したネットワークサービスの提供を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率
	(R)	(R) (R)	(R)	(R)	%
	(R)	(R) (R)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

学内システムの維持運営にかかる経費であり、指標を設定することがなじまないため。

（前年度の取組）

・ **事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）**

令和2年6月18日～12月31日：ネットワーク構築
 令和3年1月1日～新ネットワーク稼働

（前年度の成果）

・ **前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果**

本学の教育研究ネットワークとして機能しており、安定した各種サービスを提供できた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を標榜する本学は、授業や研究等で幅広く活動されており、ネットワークは不可欠である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・本学の情報インフラとして安定稼働している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・各種連絡、授業予定、行事予定、施設予約、スケジュール管理等を行うことができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本学の情報インフラとして、安定した稼働やウィルス等に対するセキュリティ対策が必要となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和2年6月から令和7年12月までの長期契約であり、契約期間中安定稼働するよう、細心の注意を払う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	